

今年いちごができました!!
 今年はアリにやられてたくさんはとれませんでした。はじめてとれたいちごは、5才のこども達が「ちゅうりっぷさんにあげる」とお兄さん、お姉さんからのプレゼントを喜んで頂きました♡

5/31 夏やさいの苗を植えました!!

5才担任の芦田先生とこども達でプランターに土を入れて運んだり、畑にマルチをはったり大変な思いをして準備をしてくれました。「とうもろこし、レタス、トマト、きゅうり、パプリカ、すいか、かぼちゃ」を植えようとみんな決めました。1人ずつ責任をもって自分の苗を植えていきました「ポットから出すのがちょっとむずかしかった」みたいです。それから根元にそーっと水をやってくれました。ちゅうりっぷ組のミニトマトもさくら組が植えてくれました。さすが年長さんです。さくら組の様子を見ながらすみれたんぽぽ組も上手に苗を植えていましたね。



「玉ねぎを使って何かできませんか?」と芦田先生からの相談でこども達とクッキングをすることになりました!!

玉ねぎを抜きました!!



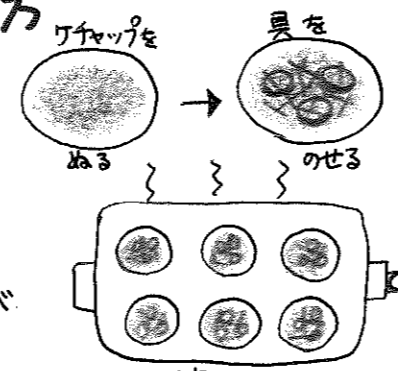
4才の冬に「5才のクラスになってカレーを作ろう!!」とみんなで植えた玉ねぎが大きくなりました。マルチの穴からズボッと出てくるのが楽しくて「こんな大きいのが出てきた!!」と大喜びでした。みんなで数を数えてみると5個!!もありました。「砂場につるあんじゅ?」と昨年していたのをよくおぼえていました。切った葉っぱは、ままごとごっこで「ねぎそば作り」に活躍しました。

ピザトーストを作りました!!

1/4に切った食パンにケチャップをぬりスライスした玉ねぎ、ハム、チーズをのせてトースターで焼きます。5才児が自分でのせて焼く所だけ職員がしました。おいしそうなおいにつられてやってきた3才4才のこども達。次回「かんたんぎょうだの皮のピザ」を作る約束をしました。

「ぎょうだピザ」の作り方

- 材料
- ぎょうだの皮 10枚
 - 玉ねぎ 1/2 うすスライス
 - ウィンナー 3本 輪切り
 - とろけるチーズ 50g



フタをして焼く。ぎょうだの皮がパリッと焼けたらOK!

玉ねぎが全然からくなーい!! 毎日給食がコレでもええわー! 家に帰ってお母さんに作り方を伝へ!!

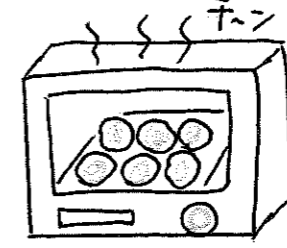
旬のえんどう豆を頂きました。

さっそくその日の3時のおやつは「豆ごはんのおにぎり」になりました。お塩のきいたごはんとはくはくのお豆。こども達もよく食べましたよ。



6/3 じゃが芋をほりました!! → せっかくならほりたてをこどもに「食べさせたい!!」

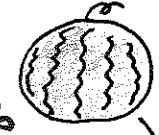
梅雨の晴れ間をねらってじゃが芋をほることに! 茎をもってひっぱるとゴロゴロと大きなお芋が出てきました。「芋がつれた!」と大喜び。先生が「まだ土の中にあるかも?」と言うと手でほってみるとまだまだ出てきましたよ。



皮ごときれいに洗って、オーブンに入れて焼きました。アルミホイルで包んでもOK!! 焼けたお芋にバターと塩をつけて全員で頂きました。最高においしいですよ!

じゃが芋が苦手な食べられなかったTくんが「おいしい!!」とパクパク食べていました。

小さなスイカがほりました。
 先生が「どうする?」ときくと「食べてみる!」とこども達、切ってみるとうっすらとピンク色。「ロンギみたいな味がある」とそれまでこども達は全部食べていました。



給食室からこども達の成長を見守っています!!
 ・外であそんでいる姿を見ながら毎日作ってます。

夏やさいを収穫!!

トマトにきゅうりが毎日とれます。

給食先生 トマトときゅうりがとれました。切ってください。

とげがチクチクしていた〜

給食室ですぐに洗ってスティックに切ってこども達の所へ。チクチクする感じではなかったことども達ですが、赤くなってスーパーで売っているものでは味わえないもので。くると「あ!あ!」と指さしてうれしそうに見ていました。

スティックきゅうりに塩をみせて出すと

3才のクラスで先生!! これさとうがかかるとうめー!! とれたては格別です。



トマトがちょっと苦手な女の子...

- ①「あたしトマトきら〜い」
- ②「え〜お肌がバキバキになってもえん?」
- ③「やっぱり食べてみる!」

きれいになりたい気持ちが勝ちましたね♡

♡ちゅうりっぷ組もトマト大好き♡

さくら組が植えて水やりしてくれたミニトマト。緑色の時には全く反応がなかったことども達ですが、赤くなってスーパーで売っているものでは味わえないもので。くると「あ!あ!」と指さしてうれしそうに見ていました。先生と一緒に取りに出てプチッと取れると「やったー!」と喜んでいました。小さく切って頂きました。



野菜好きは、栽培・収穫体験がきっかけ。
 カゴメの調査で、野菜を好きになるきっかけの1つが「こどもの頃の栽培・収穫体験」だとわかった。「子どもの頃の経験が大人になっても影響を与えている。食育の重要性も感じられる結果となった」と分析。(山陽新聞より)
 小さい時に身につけた食生活がその先一生涯の食習慣になります。「食べることは生きること」であり、食への関心を早い段階から高めておくことが大人になってからの「健康への関心」につながります。食事が「楽しい時間」になるように。